

【報告会】 いい加減、自分で決めたい私の人生

～グローバルな動きから見た日本の“女性の健康と権利”～

ウーマン・デリバー (Women Deliver) とは

世界最大級のジェンダー平等や女性の健康と権利に関する国際会議。

3年に一度開催され、2019年は6月3日～6月6日にカナダ・バンクーバーで開催。

トルドー首相や国連国際機関代表を含め参加者は世界150カ国以上から8000人規模。



福田 和子 氏

日本社会で性と生殖の健康に関する啓発・アドボカシー活動を行う。2019年3月、国際基督教大学卒業。

若者が当たり前性の健康を守れる社会になってほしいとの思いで、「#なんでもないプロジェクト」を2018年5月に立ち上げ、SNSやメディア、講演、執筆活動を通じて啓発・アドボカシー活動を行っている。

性の健康世界学会(the World Association for Sexual Health) Youth Initiative Committee委員、性の健康医学財団・機関誌『性の健康』編集委員、ジョイセフ LADY. アクティビストを代表してウーマン・デリバー2019に参加。

山本 和奈 氏

Voice Up Japan代表、中南米の教育支援活動を手掛けるNGO「Educate For」代表。

香港で生まれ、6歳までシンガポールで育つ。2019年6月、国際基督教大学卒業。学業のかたわら複数のNGOや企業を立ち上げ、幅広く活動している。

ジェンダー課題を直視し、声をあげられない社会を変えていきたいと、女性蔑視記事を掲載した出版社に対して抗議活動を行い、約5万人の署名を集めた。

ジョイセフ LADY. アクティビストを代表してウーマン・デリバー2019に参加。



北村 邦夫 氏

日本家族計画協会理事長／家族計画研究センター所長。日本思春期学会監事・日本母性衛生学会常務理事。

毎日新聞「Dr.北村が語る現代思春期」連載中。

著書に『ピル』（新英社新書）、『ティーンズ・ボディブック』（中央公論新社）『セックス嫌いな若者たち』（メディアファクトリー新書）等。

谷口 真由美 氏

全日本おばちゃん党代表代行、大阪大学非常勤講師。1975年、大阪市生まれ。大学教員のかたわら、2012年に“庶民目線の政治”を訴えるため、

Facebook上で「全日本おばちゃん党」を立ち上げる。おばちゃん目線でオッサン政治をチェックしながら、問題提起を続けている。

2018年には、メディア内部で働くセクハラ被害についての調査を元に、セクハラに対する日本社会の一助とすべく、『メディアにおけるセクハラを考える会』を立ち上げ、代表として日本外国特派員協会で見会を開く。TBS サンデーモーニングでコメンテーターを務めるなど、メディア出演多数。



お問い合わせ

公益財団法人ジョイセフ アドボカシーグループ

TEL : 03-3268-3172 FAX: 03-3235-9776 メール : advocacy@joicfp.or.jp